

# 学校における働き方改革の 着実な推進について

令和7年2月5日（水）

県教育庁働き方改革推進課  
働き方改革班

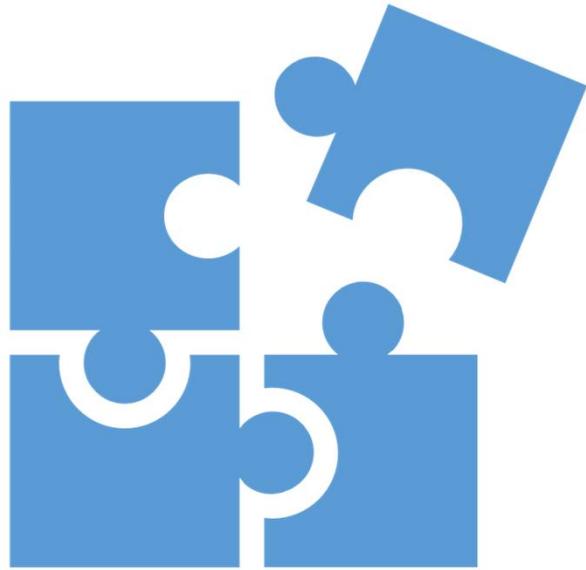
## ■ はじめに

### ■ ウォーミングアップ（隣近所の方と情報交換を！）

#### ● 「いまの気分は何色ですか？」

 研修後の気分は、どんな色になりましたか？

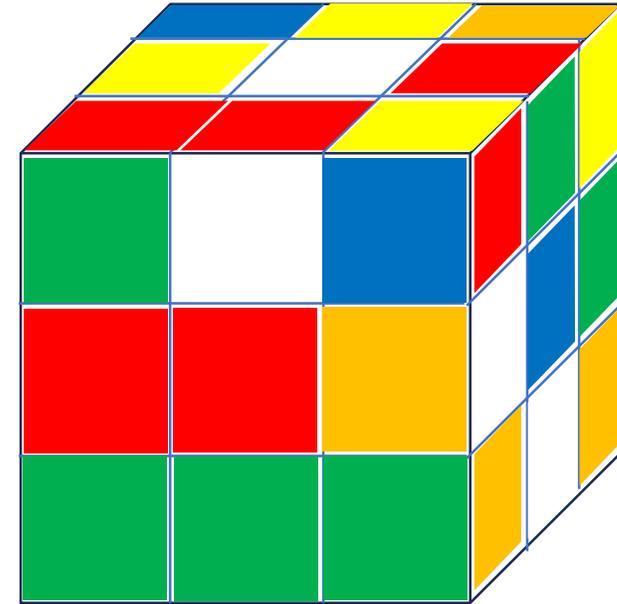
## 部分最適



ジグソーパズル型



## 全体最適



ルービックキューブ型

対話

聴く、訊く、聞く

▶▶▶ やる気が沸いてくれば . . .

## ★ 皆さんのウェルビーイングの向上（やる気が湧いてくれば…）



Your smile is my smile.

幼児・児童・生徒と教職員の  
ウェルビーイングの向上

### ウェルビーイングとは

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

日本社会に根差した  
ウェルビーイングの向上



(引用) 文部科学省 第4期教育基本計画リーフレット より抜粋

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/keikaku/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm)

## ■ 交流タイム 1（隣近所の方と情報交換を！）

### ● 「うちの学校で、〇〇〇〇〇〇！」

卒業式（修了式）の日、  
どんなコメントを期待していますか？

子供たちから、 保護者から、 地域から、 職員から、  
そして、私自身は・・・



そのとき、子供たちはどんな姿（表情）でしょうか？

（投稿欄「交流タイム1」にコメントを返信してみよう!!）

学校における働き方改革  
について、

- 目指す方向性の**共有**
- 必要性の**振り返り**
- 具体的な取組の**再考**

## 本日の流れ

学校における働き方改革は、

- ① どこを目指すのか？
- ② なぜ、推進するのか？
- ③ どのように、  
推進するのか？



学校における働き方改革は、

- ① どこを目指すのか？
- ② なぜ、推進するのか？
- ③ どのように、推進するのか？

# 1 どこを目指すのか？

「みんなの学校!ピースフル・プラン」リーフレット版

**これから3年間!**  
**新しいプランに進めよう!!**



学校における働き方改革

「学校における働き方改革」の目指すべき方向性  
教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守るとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、**子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすることです。**

令和6(2024)年3月  
沖縄県教育委員会

みんなの学校!ピースフル・プラン(全体版)はこちら  
<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>



## 「学校における働き方改革」の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守るとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、**子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすることです。**

## 「子供たちに対してより良い教育」とは？

- 八重山教育事務所グランドデザイン
- 沖縄県教育目標
- 学習指導要領前文（平成29、30年改訂）

# 1 どこを目指すのか？

## 令和6年度 グランドデザイン

沖縄県教育庁 八重山教育事務所

所是「人の道を教え、賢地良材を育てる」



### ◆ 幼児・児童・生徒の未来像

自分のよさや可能性を認識する  
あらゆる他者を価値のある存在として尊重する  
多様な人々と協働する  
様々な社会的変化を乗り越える  
**豊かな人生を切り拓く**  
**持続可能な社会の創り手**となる

### ◆ 総括目標

幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる  
**新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力**を育む。

# 1 どこを目指すのか？

## ■ 沖縄県教育目標

- ▶ 個性の尊重を基本とし、  
国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、  
創造性・国際性に富む人材の育成と  
生涯学習の振興を図る。

「人こそが最大の資源」  
との考え方を共有

# 1 どこを目指すのか？

## ■ 沖縄県教育目標

自立（自律）した  
学習者の育成

- ✓ **自ら学ぶ意欲**を育て、**学力の向上**を目指すとともに、**豊かな表現力とねばり強さ**をもつ**幼児児童生徒を育成**する。
- ✓ 平和で安らぎと活力ある**社会の形成者**として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する**心身ともに健全な県民を育成**する。
- ✓ **学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力**のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、**生涯学習社会の実現**を図る。

# 1 どこを目指すのか？

## ■ 学習指導要領前文（平成29、30年改訂）

これからの学校には.....（略）

**一人一人の児童（生徒）**が、  
**自分のよさや可能性を認識**するとともに、  
あらゆる**他者を価値のある存在として尊重**し、  
**多様な人々と協働**しながら  
様々な**社会的変化を乗り越え**、  
**豊かな人生**を切り拓き、  
**持続可能な社会の創り手**となることが  
できるようにすることが求められる。

# ① どこを目指すのか？

豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育成

自立（自律）した学習者の育成

「子供たちに対してより良い教育」を行うことにより

- ✓ 職場での良好な人間関係
- ✓ ゆとりある時間
- ✓ 児童生徒との信頼関係
- ✓ 研修や教材研究等の充実
- ✓ 安全・快適な職場環境づくり
- ✓ 長時間勤務の改善
- ・・・ 等々 「時間や機会」が必要

## 学校からの声 本県の現状『学校における働き方改革アンケート(2023)』より



小学校教諭

念願の教員になり、その仕事は素晴らしいです。子どもに関わることができて幸せです。しかし、**仕事が多すぎて、なかなか定時に帰れません**。誰も教材研究を無くしてほしいとはいいません。教師として、子どもたちに本当に必要なものを知っているからです。後輩達にもその素晴らしさを伝えられるよう、早急な業務内容の精選をお願いしたいです。

教師という職業にしかない魅力は多く、**素晴らしい職業だ**と思っています。しかし、その**魅力を上回るほどの負担**があるように感じています。少しでも多くの業務が改善され、先生方の負担が軽くなり、生徒と向き合い関わる時間が増えることを望んでいます。



中学校教諭



高等学校教諭

教職員の本来の業務は授業や生徒の育成であるはずなのに、**それ以外の業務の量が多すぎて授業準備・改善に集中できません**。1人当たりの業務量を減らすために業務の大幅削減などが早急に必要と感じています。

教員の働き方改革は、**生徒の学習と切れない問題**だと思っています。生徒の多様な学びを保障するためには教員の多忙が改善されなければ難しい。人員の増、専門家の活用、地域との連携、どれをとってもお金をかけずに、**善意に頼っている間は解決は難しい**のではないのでしょうか。



特別支援学校  
管理職

## ① どこを目指すのか？

「子供たちに対してより良い教育」を行うためには・・・

★ 教職員が忙しすぎることは、子供たちのためにならない



より良い教育を行うための「時間と機会の創出」が必要

👉 学校における働き方改革の推進が必要不可欠

# 1 どこを目指すのか？

## ◆ 子どもたちへの”よりよい教育”を行うためには？

### 「学校における働き方改革」の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、**子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすること**です。



POLICY

## 目的

教職員一人一人が、良好な人間関係を築き、心身ともに健康で本来の職務に専念し、**児童生徒と共に学び、成長しながら、専門性を十分に発揮して、「子供たちへのより良い教育」**を行っていくことができる教育環境を整える。▶ **児童生徒と教職員のウェルビーイングの向上**

### 目的の5つのポイント

- ①良好な人間関係の構築
- ②心身の健康
- ③本来の職務への専念
- ④児童生徒と共にした学びと成長
- ⑤専門性の発揮

教職員  
重要な  
教育環境

# 1 どこを目指すのか？

## ● 教育環境を整えるには？

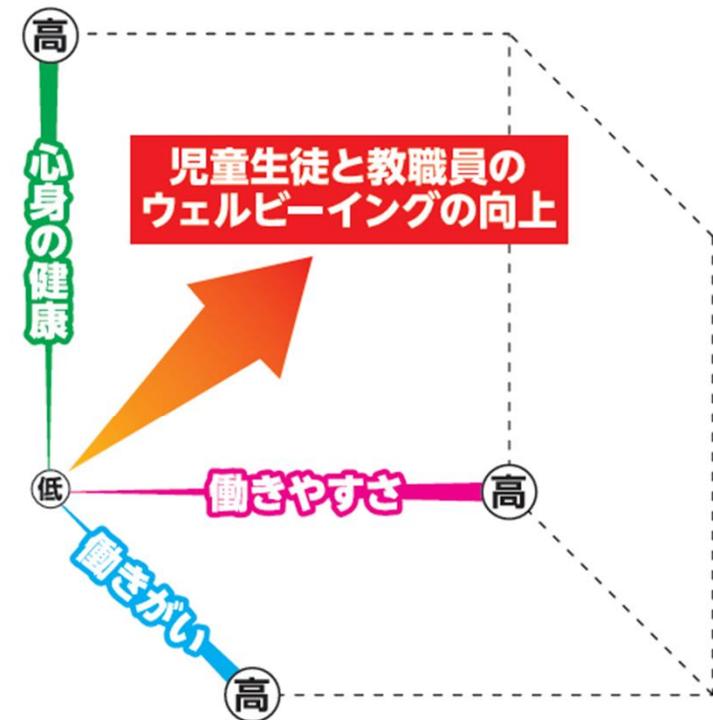
### 目標

目的実現のための「3軸・6視点」の実感の向上

教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる環境整備

3軸	働きやすさ	働きがい	心身の健康
6視点	同僚・管理職との良好な人間関係の構築	児童生徒・保護者との信頼関係の構築	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成
	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保	資質能力の向上や専門性の発揮	長時間勤務の改善

働き方改革とメンタルヘルス対策の一体的な取組



最重要課題

## ● 「3軸・6視点」の実感を向上させるためには？

「時間と機会の創出」が必要

教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できるためには、**“時間と機会を創出する”**ことが必要である。

“時間と機会を創出する”ための柱

- ✓ 人材の確保
- ✓ 教育DXの推進
- ✓ 業務の役割分担・適正化



～「学校における働き方改革」の取組目標～

### 『私たちのピース・リスト 2023』

ここに示した一つ一つの取組目標は、私たちの描く「学校における働き方改革」の**“ワン・ピース”**（一部分・欠片）でしかありません。

児童生徒の成長や発達を支援する教職員が**“働きやすさ”** **“働きがい”** **“心身の健康”**を十分に実感できる学校（職場）づくりに向けて、関係者一人一人がこれらを**自分事として受け止め**、その**役割と責任**の下、各々の取組を着実に進めることで「学校における働き方改革」は描かれていきます。

各市町村や各学校でもそれぞれの“ワン・ピース”を集めて、関係者で共有し、それぞれが目指す「学校における働き方改革」を描いていきましょう！

令和 6(2024)年3月

 沖縄県教育委員会

 『私たちのピース・リスト 2023』を自分事として取り組む

## ● 『私たちのピース・リスト2023』を自分事として取り組む

- ◆ 学校における働き方改革に、特効薬はない。  
解決に時間を要する取組も進めながら…



やれそうなことからやる！

- ◆ 学校だけ、教育委員会だけで完結しない。  
それぞれの立場で各々の役割・責任にもとづいて



自分事としてやる！

学校における働き方改革の実現による沖縄県の未来像

## 学校における働き方改革の目的：子供たちへのより良い教育を行う



「人こそが最大の資源」

との考え方を共有

学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、  
時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、  
生涯学習社会の実現を図る



★ 持続可能な社会の創り手の育成

✓ 自立（自律）した学習者の育成

「子供たちに対してより良い教育」を行う

児童生徒と教職員のウェルビーイングの向上

「3軸・6視点」の実感の向上

「人こそが最大の資源」

との考え方を共有

学校における働き方改革の推進

「時間と機会の創出」

目指す方向性を共有したところで

- 「より良い教育を行う」教育環境を整備するために  
○○○○な教頭でありたい！

 どのような教頭を目指していますか？

（投稿欄「交流タイム2」にコメントを返信してみよう!!）